

平成 15 年度第 3 回常務理事会（通信会議）議事録

期 間：平成 15 年 7 月 18 日（金）～7 月 31 日（木）

参加者：

会 長：野澤 志朗
副会長：藤井 信吾、田中 憲一
理 事：植木 實、落合 和徳、岡村 州博、佐藤 章、武谷 雄二、星 和彦、
村田 雄二、和気 徳夫
監 事：荒木 勤、中野仁雄、藤本征一郎
幹事長：吉田 幸洋
幹 事：植田 政嗣、小林 浩、古山 将康、清水 幸子、高桑 好一、阪埜 浩司、
平川 俊夫、平田 修司、藤森 敬也、村上 節
総会副議長：足高 善彦、松岡幸一郎

[資料]

第 3 回常務理事会業務担当常務理事報告並びに関連協議事項予定内容

1：第 2 回常務理事会議事録（案）

庶務 1：文部科学省からの「公益法人制度の抜本的改革に関する基本方針」

庶務 2：厚生労働省食品安全部基準審査課から水銀に関する追加資料

庶務 3：本会ホームページへの「水銀を含有する魚介類等の摂食に関する注意事項」の掲載内容

庶務 4：最高裁医事関係訴訟委員会からの報告書

庶務 5：平成 15 年度学会・医会ワーキンググループ議事録

庶務 6：日本不妊学会宛書面

庶務 7：日本学術会議第 19 期会員決定通知

庶務 8：日本哺乳動物卵子学会からの書面

編集 1：機関誌研修コーナー製本化のスケジュール

社保 1：平成 15 年度外保連への要望項目

社保 2：特定機能病院における DPC 導入に係わる資料

社保 3：施設基準設定手術数再調査

社保 4：外保連試案本の産婦人科関連団体への紹介と購入の要望

社保 5：混合診療の問い合わせに関する回答書

専門医制度 1：中間法人日本専門医認定制機構からのホームページ相互リンクの依頼

専門医制度 2：中間法人日本専門医認定制機構から協議委員 1 名の届出の依頼

専門医制度 3：産婦人科専門医卒後研修プログラム作成のためのアンケート調査

学会のあり方 1：産婦人科診療の現状

広報 1：日産婦学会ニュースに対する代議員からの意見と回答

広報 2：会員宛学会ホームページ・パスワード登録のお願いと「日産婦学会ニュース」の紹介

野澤会長から 7 月 16 日付各役員、議長団、幹事長、幹事宛書面にて、平成 15 年度第 3 回常務理事会を 7 月 18 日から 7 月 31 日迄を期間として、通信にて行う旨の案内状と通信会議次第（報告事項、協議事項）及び関連資料が送付された。

予定通り 7 月 18 日に通信会議が開始され、会長、両副会長、常務理事の総数 11 名全員が参加した。野澤会長が議長となり議事録署名人として、会長及び庶務、会計の担当常務理事が選任された。

・ 第 2 回常務理事会議事録の確認
修正なく承認した。

・ 業務担当常務理事報告並びに関連協議事項

1) 庶務（落合和徳理事）

〔 ．本会関係〕

(1) 会員の動向

秋葉昭夫^{あきばてるお}功労会員（茨城）が 6 月 30 日に逝去されたので会長名弔電、生花を手配した。

西島正博^{にしじままさひろ}前常務理事（神奈川）が 7 月 6 日に逝去されたので会長名弔電、生花を手配した。

(2) 運営企画委員会内小委員会の開催について

会員カード導入検討委員会の開催

8 月 19 日第 1 回の委員会を開催する予定である。

事務局 IT 化推進委員会の開催

8 月 19 日第 1 回の委員会を開催する予定である。

(3) 産科・小児科合同委員会の本会側メンバーについて

6 月 6 日の第 2 回常務理事会での協議を踏まえ、産小合同委員会を復活することとした。村田雄二常務理事を窓口として、小児科学会と委員数を調整の結果、本会より 5 名の委員を推薦することとした。

本会側メンバーとして、岡井 崇（昭和大学）、佐藤 章（福島県立医大）、村田雄二（大阪大）、中野仁雄（九州大）、茨 聡（鹿児島市立病院周産期センター）の 5 氏を委員として推薦することを承認した。

〔 ．官庁関係〕

(1) 文部科学省

文部科学省研究振興局学術研究助成課より「公益法人制度の抜本的改革に関する基本方針」についての通知を受領した（7 月 4 日）。[資料：庶務 1]

7 月 11 日に文部科学省研究振興局学術研究助成課担当官 2 名による事務局への立ち入り検査が実施された。

(2) 厚生労働省

厚生労働省食品安全部基準審査課より「妊婦等の水銀を含有する魚介類等の摂食」に関する追加資料が送付されてきた（7 月 4 日）。[資料：庶務 2]

なお、本会ホームページ及び機関誌で「水銀を含有する魚介類等の摂食に関する注意事項」を掲載した（7 月 4 日）。[資料：庶務 3]

「健やか親子 21 推進協議会・課題 2」の幹事会開催について

7 月 11 日に同幹事会が開催され、本会から岡村州博、木下勝之、久保春海の 3 氏が出席した。

(3) 最高裁判所医事関係訴訟委員会

同委員会からのこれまでの活動経緯及び各学会の鑑定人候補者推薦の対応状況についての報告書を受領した(7月3日)。[資料:庶務4]

[. 関連団体]

(1) 日本産婦人科医会

6月24日に第1回学会・医会ワーキンググループ(通算13回)を開催した。

[資料:庶務5]

9月9日に第2回学会・医会ワーキンググループ(通算14回)を開催する予定である。

(2)(社)日本不妊学会

サブスペシャリティ調整委員会及び第2回理事会での協議を踏まえ、産婦人科関連学会のサブスペシャリティ制度につき、その研修開始を本会産婦人科医を取得した後にしていただきたいとの要望書を同学会宛提出した(7月1日)。[資料:庶務6]

同じく産婦人科関連のサブスペシャリティを検討している学会への同様の要望書を提出したい。

(3) 日本学術会議

同会議より第19期会員の決定の通知を受領した(7月8日)。[資料:庶務7]

本会より泌尿・生殖医学に推薦の青野敏博徳島大学学長が会員に選出された。

なお、野澤会長が病理学の第19期会員に同じく選出された。

(4) 日本哺乳動物卵子学会

同学会では生殖補助医療胚培養士資格認定制度を発足させ、この4月に講習会及び筆記試験を実施したが、その結果につき本会宛報告があった。[資料:庶務8]

(5) エイズ予防財団

同財団より厚生労働省科学研究費研究成果報告者「妊産婦のSTD及びHIV陽性率と妊婦STD及びHIVの出生児に与える影響に関する研究」(主任研究者 田中憲一)を10冊受領した(7月14日)。

[. その他]

(1) 卵巣腫瘍取扱い規約第1部500部増刷について

金原出版より増刷依頼があった。同規約は婦人科腫瘍委員会にて見直し改訂の予定であるが、改訂版出版まで時間がかかることから、これを応諾した。

(2) アルコール薬物問題全国審議会(NPO)より妊娠中の飲酒を原因とする耐性アルコール症候群を予防事業に関連して、11月に開催される国際シンポジウムにシンポジストまたは指定発言者の推薦依頼があり、周産期委員会に人選を一任し、国立成育医療センターの久保隆彦氏を推薦することにした。

以上の庶務事項に係わる報告事項につき一括承認した。

2) 会 計 (岡村州博理事)

とくになし。

3) 学 術 (和氣徳夫理事)

(1) 学術講演会事後評価小委員会、学術集會長のあり方検討小委員会の合同委員会を 7 月 31 日に開催する予定である。

議題【学術講演会事後評価小委員会】

1. 3つの事後評価(シンポジウム、IS、学術講演会)の一括化
2. 一般演題(応募、選考、発表形式など)
3. 学会の国際化(IS、IWのあり方)
4. 学術集會期間中の託児所設置について
5. その他(特別講演演者選考について、など)

【学術集會長のあり方検討小委員会】

1. 学術企画委員会と学術集會長の業務分担について
2. プログラム・コミティー業務の学術集會開催校への移行スケジュールについて
3. その他

(2) 第 56 回学術講演会一般演題の公募

機関誌第 55 巻 8 号に応募要項を掲載し、インターネットを利用したオンラインによる演題応募による演題応募を行う。応募期間は、8 月 1 日～10 月 1 日正午である。

(3) 第 57 回学術講演会特別講演演者推薦、シンポジウム担当希望者公募、第 58 回学術講演会シンポジウム課題公募

機関誌第 55 巻 8 号から公募の会告を掲載する。期限は 11 月 28 日である。特別講演演者推薦は理事、地方部会長、教授に別途推薦の依頼を行う。

(4) 学術奨励賞に関する会告

具体的な推薦、応募方法に関する会告は機関誌第 55 巻 10 号から掲載する。なお、理事、地方部会長、教授、機関誌レフリーに別途推薦の依頼を行う。

(5) 国外 IS の演題募集

AOFOG 加盟 22 国、個人(約 900 名)に Call for papers を発送する準備を進めている。

以上の学術の報告事項を一括承認した。

4) 編 集 (星 和彦理事)

(1) 機関誌研修コーナー製本化のスケジュールについて

機関誌研修コーナーにこれまで執筆いただいた先生に 7 月末日までに内容の見直しを依頼した。

平成 16 年 5 月頃の製本化をめざし作業を進めている。[資料：編集 1]

編集委員会の方針を承認した。なお、本件につき**植木常務理事**より「時期を得た良い企画である」、**野澤会長**より「本事業は本会の存在意義にも関わる重要な事業と考えている。是非このような方向での作業を進めていただきたい」との発言があった。

5) 渉 外 (村田雄二理事)

[FIGO 関係]

(1) FIGO Executive Board Meeting (6月21日、22日サンチアゴ、チリ)

Nomination (6月2日に締切り) について

11月のチリで開催される総会の少なくとも1か月前に各国産婦人科学会にリストを公示する。
11月4日の総会で最終立候補者を発表する。11月6日の総会で投票を行う。

2009年の学術集会

当初の予定地であったイスラエル(アフリカ/東地中海地域)から変更する。

レバノン、モロッコ、南アフリカ、アラブ首長国連邦が立候補しており、11月6日の総会で投票する。

国際会議の立候補、選出過程について

- ・ 地域によるローテーションは保持する
- ・ 開催6年前に常務理事会で選ばれた3名が選考委員会を構成する
- ・ 選考委員会が当該地域の中から3箇所以上の国を選ぶ
- ・ 開催希望国の詳細な情報を収集する
- ・ 地域国を訪問する前に立候補国が minimum criteria に合致していることを確認する。地域訪問の費用は各国がそれぞれ負担する
- ・ 地域訪問
- ・ 選考委員会の答申を常務理事会が検討し、メリット、デメリットを委員会が提示
- ・ 常務理事会が総会議案に提出
- ・ 開催希望国のメンバーはこの過程に招待される(拒否可能)

新しいFIGO加盟希望国

リビア、マカオ、マケドニア、アラブ首長国連邦、パレスチナ、アルバニア、アフガニスタン

Awards

FIGO Distinguish Service Award : Dr. France Donnay

Dr. Avibal Fraudes

FIGO Recognition Award to Non-Ob/Gyn : Dr. Pramiilla Senanayake

FIGO Outstanding Contribution Award: Dr. Catherine Hamliu

(2) 王立産科婦人科学会(RCOG)の副会長 Prof. Carthy から日本のFIGO常任理事国への立候補の表明文書に対する受け取りの手紙を受領した。RCOGはACOGのように本会との交流を望んでいる旨の追記があった(6月8日受領)。

(3) スリランカ産科婦人科学会から日本のFIGO常任理事国への立候補の表明文書に対する受け取りの手紙を受領した(6月20日)。

(4) FIGO Secretary General Prof. Benagiano から FIGO/ESRF Fellowship for Post-Doctoral Research の応募の手紙を再度受領した。この Fellowship は発展途上国の産婦人科医に対するものである(6月23日受領)。

(5) NFOG(Nordic Federation of Societies of Obstetrics and Gynecology)の会長 Dr. Hammarstrom 氏から Dr. Jerker Liljestrand 氏を FIGO の会計理事に推薦した旨の手紙を受領した(7月4日)。本会からは村田雄二理事が会計理事に立候補しているので、本会からも各国の産婦人科学会に立候補の連絡と賛同を求める手紙を出す必要がある。

[AFOG 関係]

とくになし

[ACOG 関係]

とくになし

[その他]

(1) インド産科婦人科学会から第 47 回 All India Congress of Obstetrics and Gynecology (2004 年 1 月 6 日～9 日、Agra) の開催通知を E-mail で受領した (6 月 19 日)。

(2) International Gynecologic Cancer Society から第 10 回 Biennial Meeting 開催の手紙とサーキュラーを受領した。学会 URL : www.kenes.com/iqcs-10 (6 月 24 日受領)。2004 年 10 月 3～7 日 (エジンバラ)。

(3) パキスタン産科婦人科学会の第 10 回 Biennial Conference (2003 年 10 月 24～26 日、lahore) のサーキュラーを受領した (6 月 24 日)。

(4) イランの Dr. Alipoor から JOGR 宛に分娩監視装置不足のため周産期医療が危機に瀕しており、援助を希望する旨のメールを受領した (7 月 7 日)。連絡先は Dr. Mohammad B. Alipoor, Box No.348, Mahabad, IR-59135, West Azarbaijan, IRAN. Tel : 0098-0442-233 3100。Fax : 0098-0442-233 9300。

(5) 本会会長宛に The Events of the Year in Gynaecology and Obstetrics (The First Eurasian Congress) の開催の通知と、本会が受諾するなら、本会会長を Honorary Board of Medical Societies に推挙したい旨の手紙を受領した (7 月 7 日)。

以上の渉外に係わる報告事項を一括承認した。

6) 社 保 (植木 實理事)

(1) 会議開催

6 月 28 日に第 1 回社会保険学術委員会を開催した。

平成 15 年度、外保連への要望項目を最終決定の上、承認した。[資料：社保 1]

内保連関連では、ホスピタルフィーとして「外来補助管理料の新設」、ドクターフィーとして「特定疾患療養指導料適応疾患の拡大」中の「卵巣機能不全」と「閉経期およびその他の閉経周辺期傷害 (更年期障害)」を当面の要望項目として、内保連内分泌小委員会に打診する旨確認した。

本報告につき了承した。

(2) 特定機能病院における DPC 導入開始について [資料：社保 2]

本報告につき了承した。

(3) 外保連から施設基準設定手術数再調査の依頼があり、昨年 7 月にアンケートを行ったのと同様、卒後研修指導施設 817 にアンケート調査を行っている。回答期限は 7 月 15 日である。

[資料：社保 3]

本件に関し、**野澤会長** から「外保連からの施設基準設定手術再調査依頼は、大変重要なアンケート調査であり、本会として積極的かつ正確に対応していただきたい」との発言があった。

(4) 外保連試案本 (3 冊が 1 セット) の産婦人科関連団体への紹介と購入の要望があったことについて [資料：社保 4]

本報告につき了承した。

(5) 土谷総合病院、小田博宗先生からの混合診療に関する問い合わせに対して、最終回答を送付した。[資料：社保 5]

本報告につき了承した。

7) 専門医制度 (武谷雄二理事)

(1) 中間法人日本専門医認定機構

同機構よりのホームページ相互リンクの依頼について[資料：専門医制度 1]
協議の結果本件につき了承した。

同機構より本会の専門医制度に通じた役員や経験者から 1 名を協議委員として 7 月末日までに届け出すようにとの書面を受領した(7月10日)。[資料：専門医制度 2]

野澤会長 より「同機構からの依頼の内容から、本会として武谷雄二専門医制度委員会委員長が最適と判断する。回答期限の関係から同委員長を推薦させていただいた。是非ともお認めいただきたい」との報告があり、協議の結果これを承認した。

(2) 専門医制度中央委員会研修小委員会によるアンケート調査の実施について

産婦人科専門医卒後研修プログラム作成の参考とするため、全国の医育機関、特定機能病院の産婦人科研修指導責任者(80名)宛アンケート調査を行っている。回答期限は8月15日である。[資料：専門医制度 3]

本報告につき了承した。

8) 倫理委員会 (田中憲一委員長)

(1) 本会の見解に基づく諸登録(6月30日現在)

ヒト精子・卵子・受精卵を取り扱う研究に関する登録：登録 80 施設

体外受精・胚移植、および GIFT の臨床実施に関する登録：登録 595 施設

ヒト胚および卵の凍結保存と移植に関する登録：登録 428 施設

パーコールを用いての XY 精子選別法の臨床実施に関する登録：機関誌 46 巻 8 号(平成 6 年 8 月)において登録一時中止以来登録なし

顕微授精の臨床実施に関する登録申請：登録 320 施設

非配偶者間の人工授精の臨床実施に関する登録：登録 25 施設

(2) 委員会開催

7月31日に第2回倫理委員会、第1回倫理審議会を開催する予定である。

以上倫理委員会に係わる報告につき了承した。

理事会内委員会報告並びに関連協議事項

1) 定款改定委員会 (落合和徳委員長)

7月7日に第2回定款改定委員会を開催した。

6月28日の第2回理事会に提示した理事長導入に係わる定款変更(案)を7月中旬に文部科学省に提出し、定款変更の交渉を始めたい。

なお、定款施行細則、役員および代議員選任規程、学術集会長の選任規程につき9月19日の第4回常務理事会に提示できるよう検討を進めたい。

9月12日に第3回定款改定委員会を開催する予定である。

以上定款改定委員会に係わる報告につき了承した。

2) 学会のあり方検討委員会 (藤井信吾委員長)

(1) 記者会見における広報について

6月28日の定例記者会見において、平成14年度の学会のあり方検討委員会答申書を配付した。

また、産婦人科診療の現状について要約した表を作成の上、配付し説明を行った。

[資料：学会のあり方 1]

(2) 会議開催

9月19日に第3回学会のあり方検討委員会を開催する予定である。

以上学会のあり方検討委員会に係わる報告につき了承した。

3) 広報委員会 (佐藤 章委員長)

(1) 日産婦学会ニュースに対する代議員からの意見に対する回答について[資料：広報 1]

(2) 会員宛学会ホームページ・パスワード登録のお願いとお知らせメール「『日産婦ニュース』のご紹介」を配信した(6月28日)。

以上広報委員会に係わる報告につき了承した。

4) 2007 第 20 回 AOCOG 準備委員会 (武谷雄二委員長)

7月1日に2007AOCOGに関する説明会を開催し、PCO(Professional Convention Organizer)15社が参加した。7月末日までに各社より入札価格、企画案が寄せられる見込みである。

本報告につき了承した。

以上